

皆さん、おはようございます。早いもので1月も最後の週となりました。先週は土曜参観と新入生説明会もありました。妹、弟さんが入学する人もいますね。学校も1年間のまとめと来年度に向けての準備が始まっています。皆さんも1日1日大事に過ごしていますか？

さて、今年の干支は申ですね。申にまつわることわざのお話をしたいと思います。関東に住んでいる人は結構、行くのですが、関西ではなじみが薄い栃木県に日光東照宮という観光地があります。そこに三ざるといってこんなモチーフがあり、観光名所となっています。

三猿（さんざる、さんえん）とは、3匹の猿が両手でそれぞれ目、耳、口を隠しているモチーフです。

「見ざる、聞かざる、言わざる」と言うんですがこれですね。三猿は世界的にも"Three wise monkeys"として知られ、日本語の語呂合わせから日本がこの言葉の発祥の地と思われがちなのですが、3匹の猿というモチーフ自体は古代エジプトやアンコールワットにも見られるもので、シルクロードを伝い中国を経由して日本に伝わったという説があるそうです。その証拠にインドのアーメダバードと言うところにもこのような像があります。このように「見ざる、聞かざる、言わざる」によく似た表現は昔から世界各地にあり、同様の像も古くから存在しています。しかしそれぞれの地域の文化によってこの言葉の意味するところは微妙に異なり、またその起源は未だ十分に解明されておらず、今後の研究と調査に委ねるところが大きいそうです。

日光の場合は、子どもの猿であり「子どもの時分に、悪いことを見ない、悪いことを聞かない、悪いことを言わずに素直に育った方が良いという教訓なんだそうです。子どもの頃だけでなく、大人になっても通用するものがあることから…このような前もって注意となります。

他人の欠点・悪口ばかり言って いると自分に返ってくる！ という戒（いまし）めです。先程言ったようにインドや中国など外国にも3猿がありますが、又別の意味らしいです。一度、調べてみて下さい。

残り2ヶ月足らずの今年度ですが、見ざる 聞かざる 言わざる のいましめ通り 他人の欠点や悪口を言うことなく、皆さん仲良く過ごしてください！先週から非常に寒くなってきました。来週からは1年で一番寒い2月になります。健康管理に気をつけて生活して欲しいと思います。